



本市出身者初の快挙

# 高瀬さん芥川賞受賞!!

文化振興課 ☎ 65-1554

7月20日(木)に第167回芥川賞・直木賞の選考会が行われ、本市出身の高瀬隼子さんの「おいしいごはんが食べられますように」が、芥川賞を受賞しました！  
新居浜市初の快挙となります。おめでとうございます!!

受賞作 /



## 「おいしいごはんが 食べられますように」

職場の同僚に違和感やいらだち、さまざまな葛藤を感じる20代後半の男女を主人公に、食べる行為を通じて、共に生きることの難しさを巧みな描写で書き下ろした、仕事+食べもの+恋愛小説です。



© 嶋田礼奈 / 講談社

## 高瀬隼子

- 1988年 新居浜市生まれ
- 2019年 「犬のかたちをしているもの」で第43回すばる文学賞を受賞。
- 2020年 同作で単行本デビュー。  
2冊目の著作「水たまりで息をする」が、第165回(2021年上半期)芥川賞で候補として選ばれる。
- 2022年 「おいしいごはんが食べられますように」が、第167回芥川賞を受賞。

## 別子銅山記念図書館で 高瀬さんの本や直筆メッセージ などを展示中!!



図書館では、高瀬さんのブースを設け、9月下旬まで、本や雑誌、直筆メッセージを展示しています。ぜひご覧ください。

また、高瀬さんの本の貸し出しも行っていますので、読んでみたい人は気軽にご利用ください。

※すぐ借りられない場合がありますので、ご了承ください。



## 市長 お祝いの言葉

芥川賞のご受賞、誠にありがとうございます。新居浜市民を代表してお祝い申し上げます。本市にとっても明るいニュースであり、大変喜ばしく感じております。

今後も素晴らしい作品をご執筆され、ますますご活躍いただけることを期待しております。

